

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法によっている。

その他有価証券

市場価格のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

市場価格のないもの…移動平均法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く)……定率法を採用している。

リース資産……

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

賞与引当金……支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

#### (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 表示方法の変更

なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	25,167,456,700	0	1,045,425,700	24,122,031,000
小 計	25,167,456,700	0	1,045,425,700	24,122,031,000
特定資産				
助成事業財産	20,715,083,600	0	2,513,635,400	18,201,448,200
退職給付引当資産	64,122,995	8,997,698	0	73,120,693
50周年記念事業積立金	80,000,000	0	0	80,000,000
小 計	20,859,206,595	8,997,698	2,513,635,400	18,354,568,893
合 計	46,026,663,295	8,997,698	3,559,061,100	42,476,599,893

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	24,122,031,000	(3,000,000,000)	(21,122,031,000)	(0)
小 計	24,122,031,000	(3,000,000,000)	(21,122,031,000)	(0)
特定資産				
助成事業財産	18,201,448,200	(18,201,448,200)	(0)	(0)
退職給付引当資産	73,120,693	(0)	(0)	(73,120,693)
50周年記念事業積立金	80,000,000	(0)	(80,000,000)	(0)
小 計	18,354,568,893	(18,201,448,200)	(80,000,000)	(73,120,693)
合 計	42,476,599,893	(21,201,448,200)	(21,202,031,000)	(73,120,693)

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リ ー ス 資 産	4,171,200	1,564,200	2,607,000
合 計	4,171,200	1,564,200	2,607,000

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第1回野村ホールディングス債	100,000,000	99,979,000	▲21,000
第429回九州電力債	500,000,000	504,885,000	4,885,000
第497回関西電力債	300,000,000	304,440,000	4,440,000
第504回関西電力債	600,000,000	597,263,400	▲2,736,600
第3回名古屋銀行劣後債	500,000,000	498,785,500	▲1,214,500
第1回明治安田生命第1回劣後ローン流動化債	300,000,000	271,632,000	▲28,368,000
第1回全共連第1回劣後ローン流動化債	200,000,000	180,410,000	▲19,590,000
第4回第一生命ホールディングス永久劣後債	500,000,000	450,534,000	▲49,466,000
合 計	3,000,000,000	2,907,928,900	▲92,071,100

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益計上による振替額	20,473,270
特定資産運用益計上による振替額	397,390,769
指定正味財産再投資差額充当額計上による振替額	0

10. 関連当事者との取引の内容

なし

11. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	446,736,399	現金預金勘定	470,822,609
有価証券勘定	0	有価証券勘定	0
現金及び現金同等物	446,736,399	現金及び現金同等物	470,822,609

(2) 重要な非資金取引  
なし

12. 重要な後発事象

なし